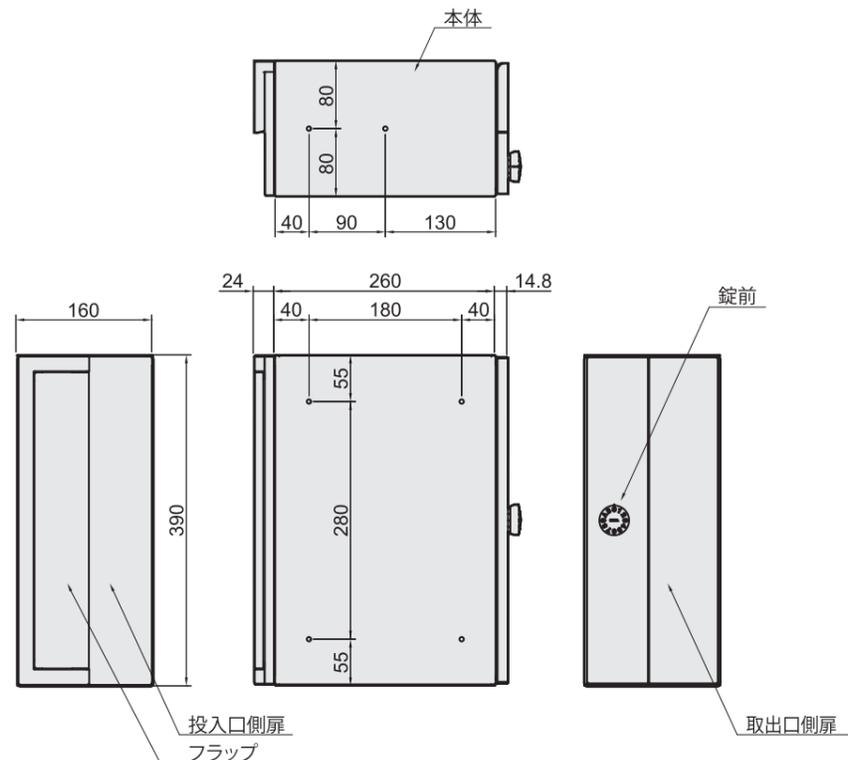
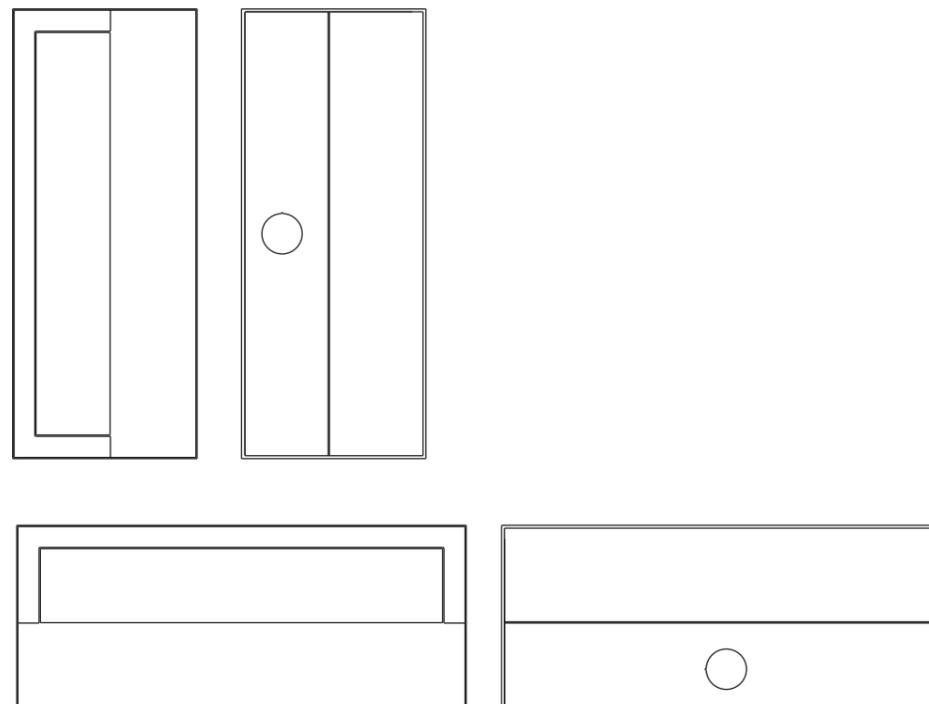
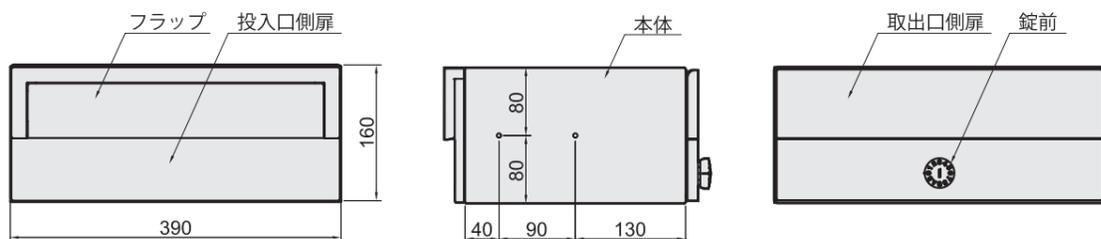


【タテ置き】



【ヨコ置き】



取扱説明書

この度は、キョーワナスタ郵便受箱をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、未永くご愛用ください。
お読みになったあとは、紛失されませんよう保管してください。

アフターサービスについて

- 修理サービスはお買い求めの販売店または工事店にお申し付けください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または、下記支店・営業所までお問い合わせください。お問合せの際は、下記の内容をお知らせください。

【お知らせいただきたい内容】

1. 住所・氏名・電話番号
2. 製品名・品番
3. 故障の内容や状況

【交換部品一覧】

扉・錠前・フラップ・パッキン類

本製品の保証及び免責事項内容について

1. 保証期間
お買い上げ日より2年間とします。
2. 保証内容
保証期間中に正常な使用状態において、万一製造上に起因する故障が生じた場合には、当社にて無償で修理いたします。

本製品は通常郵便物の受箱を目的とし、現金、有価証券、重要書類、宝石、貴金属などの保管には適しません。いかなる配達物、内容物であっても、本製品の故障の有無にかかわらず盗難あるいは紛失、損傷、汚染した場合、当社はその責任を負わないものとします。

次のような場合は保証期間中でも有償修理となります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の故障・損傷
- (2) ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する故障・損傷
- (3) ユーザーが施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する故障・損傷
- (4) 建築躯体の変形など住宅品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化又は使用に伴う摩擦等により生じる外観の現象
- (5) 海岸付近、温泉などの地域における空気環境に起因する故障・損傷
- (6) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する故障・損傷
- (7) 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異又は戦争・暴動等破壊行為による故障・損傷

※この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。



お客さまへ

開錠番号シールを郵便受箱から必ず外し、
右の枠内に貼って保管してください。
1枚は管理者様用です。

▼開錠番号シール

貼付場所

取付完成後は、
この取扱説明書を必ずお客様に
お渡しください。

安全上のご注意

ここで示した注意事項は、お使いになる方やその他の方への危険や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■説明を無視した使用方法によって生じる、＜危害や損害の程度＞を次の表示で区分し説明しています。

<p>警告</p> <p>この表示の欄には「死亡や重大な事故の発生が想定される」内容です。</p>	<p>注意</p> <p>この表示の欄には「ケガや物的損害が発生が想定される」内容です。</p>
--	---

注意

●扉にぶらさがらないでください。

扉にぶらさがったりすると扉が変形したり、破損することがあり、思わぬケガをすることがあります。特に子供の遊びにご注意ください。



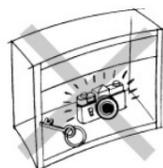
●扉を無理に開けないでください。

扉を無理に開けると変形したり、鍵がからなくなる恐れがあります。



●貴重品・重要書類・危険物・生物等の保管はしないでください。

一般郵便物の受箱として設計されていますので、貴重品類の受取りや保管には適しておりません。お部屋の鍵も入れないでください。意図的な盗難やいたずらに対応できません。



●扉は開け放しにしないでください。

扉を開けたままにすると、歩行者が扉に当たって危険です。郵便物を取り出した後は必ず扉を閉めて施錠してください。



●すみやかに郵便物を取り出してください。

この郵便受は防滴仕様ですが、防水ではありませんので投入口に郵便物がはさまっていたり、強風雨時には郵便物が濡れることがあります。お早めに取り出してください。また、郵便物がたまり、つめこみすぎると鍵が開かなくなったり、投入口フタの破損や作動異常の原因となります。



※おねがい事項

●多量の郵便物は一度に取り出さないでください。

多量の郵便物を両手で一度に取り出すとすると無理な力が手や扉にかかって、思わぬケガをしたり、故障の原因になります。



●扉を閉めるときは静かに閉めてください。

あまり強く乱暴に閉めると、音が隣家に響き迷惑になります。また、鍵の故障の原因にもなります。



郵便受箱は定期的にお手入れをする必要があります

末永くご愛用していただくためには、定期的なお手入れが必要です。特に工場地帯ではススや鉄粉が付着しやすい場所や、海岸が近く潮風にさらされる場所では、お手入れをおこたるとさびを誘発し、“腐食”や“もらいさび”を起こす場合があります。

お手入れ方法

- ・やわらかい布でから拭きしてください。
- ・汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。水分は完全に拭き取ってください。
- ・シンナー・ベンジン・みがき粉・タワシなどを使って清掃することは避けてください。変色・キズ・塗装ハクリ等の原因になります。



注意

お手入れの際は、安全のため必ずゴム手袋をお使いください。

この製品は板金製のため、細部までお手入れされる場合は、手を切る恐れがあります。



鍵の使用法

ダイヤル錠タイプ



はじめに

表紙に貼ってあります、開錠番号シールの色が「赤」の方は

＜例1＞ 郵便受箱開錠番号

右に2回	2
左に1回	1

はこちらを参照ください。

確認

表紙に貼ってあります、開錠番号シールの色が「青」の方は

＜例2＞ 郵便受箱開錠番号

左に2回	3
右に1回	4

はこちらを参照ください。

開錠方法

手順1

ダイヤルを右に回して、1回目の2を合わせます。

手順2

もう一度、ダイヤルを右に回して、2回目の2を合わせます。

手順3

ダイヤルを左に回して、1に合わせると開錠します。

ダイヤルを左に回して、1に合わせると開錠します。

ダイヤルを左に回して、1に合わせると開錠します。

ダイヤルを右に回して、1回目の3を合わせます。

もう一度、ダイヤルを左に回して、2回目の3を合わせます。

ダイヤルを右に回して、4に合わせると開錠します。

※指定の施錠方法を行わない場合、番号の位置によっては1回合わせただけで開錠する場合があります。

施錠方法

ダイヤルを左に1回転以上、回すと施錠します。

ダイヤルを右に1回転以上、回すと施錠します。

※1回転以上回さなくても施錠しますが、いたずら等わずかな回転で開錠される場合があります。施錠する場合は、必ず1回転以上回してください。

シリンダー錠タイプ

- ・鍵は施錠時のみ抜き差しできます。



施工説明書

工事店様用

KS-MB322S KS-MB323S (投入口側防滴仕様)

安全上の注意

ここで示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので必ず守ってください。
■ 表示内容を無視して誤った取扱い時に生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

 警告	この表示の欄には「死亡または、重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄には「傷害を負う可能性または、物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

ご注意

取出口側は雨水のかかる場所に設置しないでください

- ・取出口側は屋内専用です。防滴仕様になっておりません。

投入口側は軒下等の雨がかりの少ない場所へ設置してください

- ・投入口側は屋外防滴仕様ですが、防水ではありません。

ビス類の締め忘れにご注意ください

- ・ビス類の緩みが無いよう強固に締め付けてください。

製品の養生を行ってください

- ・製品取付後に内外装工事を行う場合には必ず十分な養生をしてください。

取付工事には手袋を着用してください

※おねがい事項

極端に高い所や低い所には設置しないでください

- ・郵便物の出し入れに支障の無い位置に取付けてください。

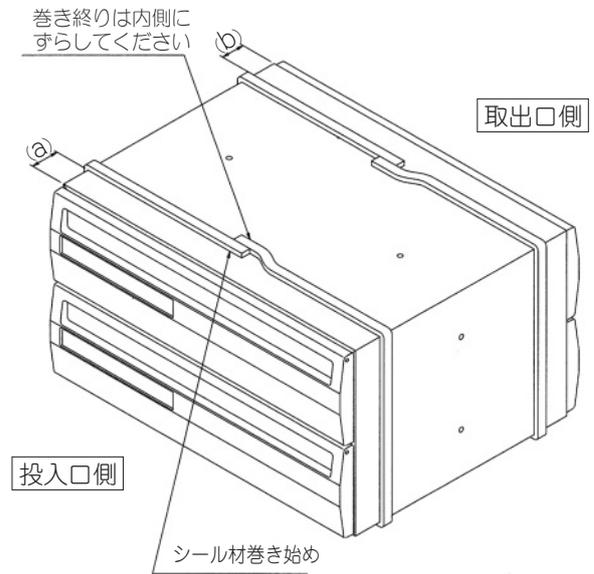
扉の開閉スペースが確保できない場所に設置しないでください

製品取付後に鍵の清掃を行ってください

- ・鍵と鍵の受け部を必ず清掃してください。

取付前の準備

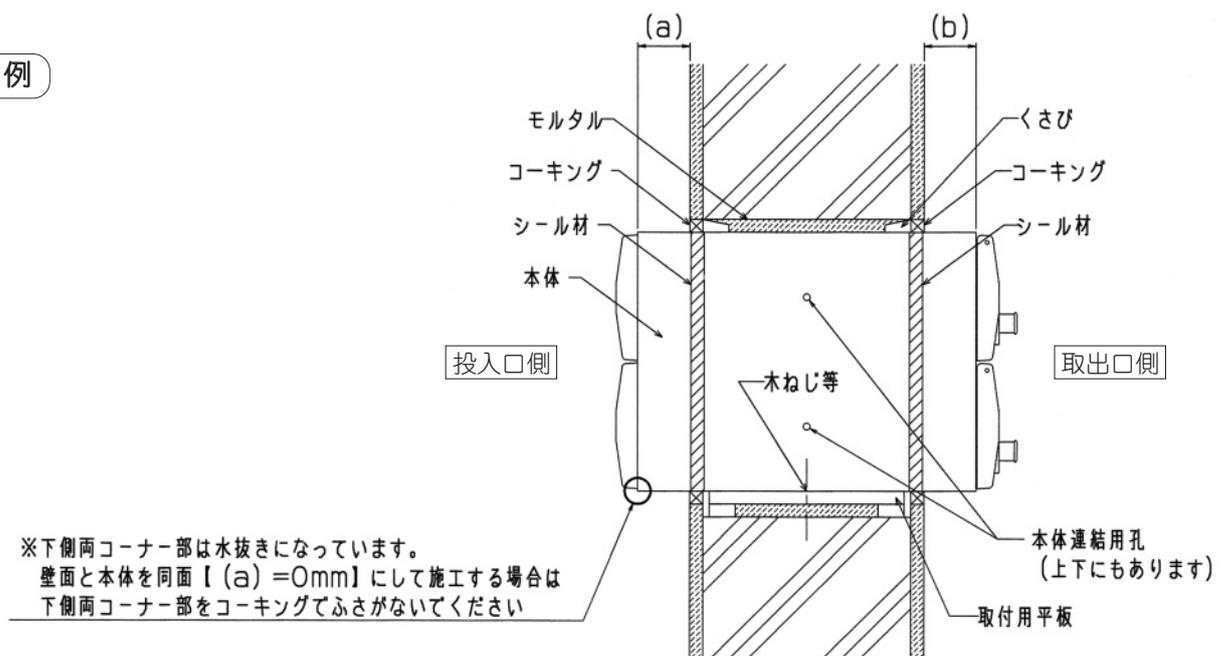
- ①郵便受箱の投入口側本体（屋外側）の壁面からの出張り寸法 (a) と取出口側本体（屋内側）の出張り寸法 (b) を確認してください。
 - ②郵便受箱本体外周に付属のシール材を右図の様に巻いてください。
投入口側に (a) 寸法の位置に貼ります。
取出口側も同様に (b) 寸法の位置に貼ります。
- ※上記シール材の厚みにより、取付壁開閉口寸法は郵便受箱寸法に加えて1台あたり2.5mm余分に必要です。



取付方法

- ①郵便受箱を水平に取付ける為に壁面開口部底面にレベル出し用平板（木材、鋼材など）を置き、水平面を出しておきます。 ※水平面が出ていないと、防滴性能に影響が出ますのでご注意ください。
- ②郵便受箱を平板にのせて、本体側面板相互を付属のナイロンリベット、ゴムワッシャーで連結し、木ネジ・タッピングネジ等で平板に固定します。
- ③上下に接する本体の孔をナイロンリベット、ゴムワッシャーで、固定しながら積み重ねてゆきます。
※取付けの際本体のねじれや、ゆがみがでないように注意してください。
- ④製品内の中板の孔にも、ナイロンリベット、ゴムワッシャーでふさいでください。
- ⑤連結が終わったあと扉の作動に支障のないことを確認した上で、くさび等を使い、上部の数ヶ所を固定します。
（“くさび” は必ず本体角部に打ってください。）
- ⑥本体外周にモルタルを適度につめ固定し、防水のためコーキング仕上げをしてください。

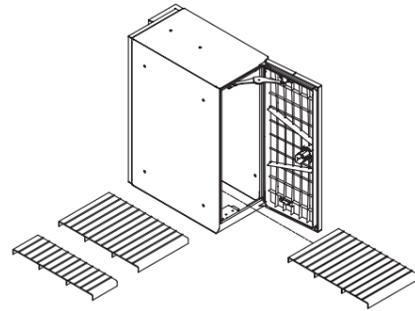
取付図例



スノコの取付方法

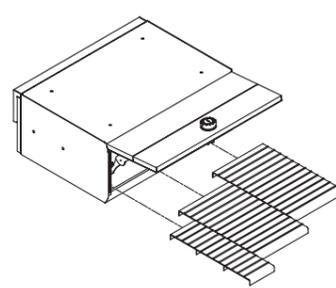
製品取付後、設置方向に合わせてスノコを製品底面に取り付けてください。

◎縦置き(勝手共通)



スノコ大1枚のみ使用します。
スノコ小は使用しません。
もう1枚のスノコ大はスペアとしてご使用
ください。

◎横置き



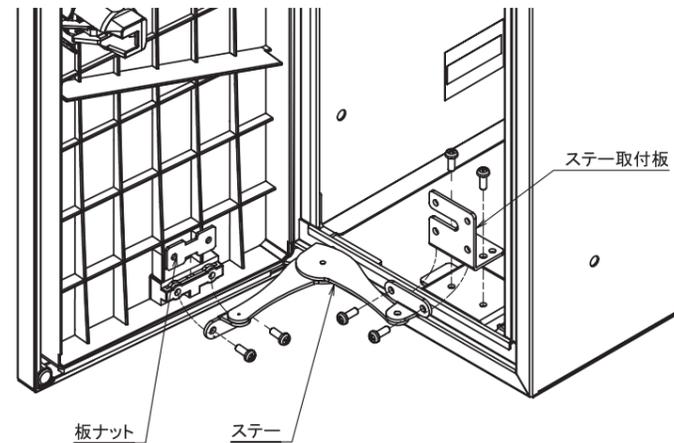
3枚全てのスノコを図の向きで製品底面に並べてください。
※3枚の並ぶ順番に指定はありません。

ステーの付け替え

- ・製品出荷時は縦置きの場合、右勝手になっています。(ステーが上に付いています)
- ・縦置き左勝手に設置する場合は必ずステーの付け替えをしてください。
- ※付け替えしなかった場合、スノコの取付ができず、扉開閉不良の原因になります。

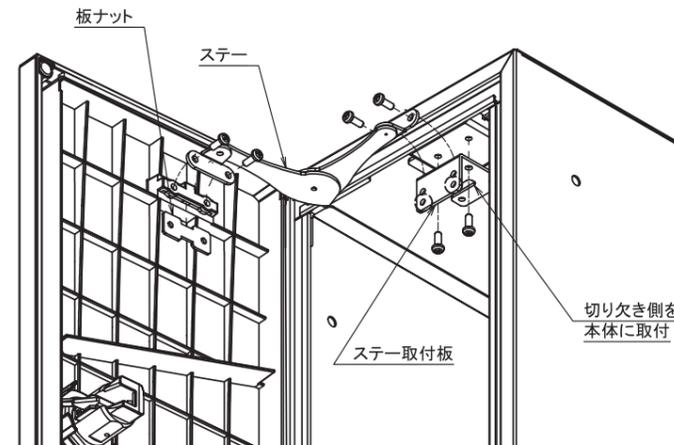
◎ステーの取外し

- ①扉側のステーを固定しているねじを取り外して板ナットを扉から引き抜きます。
- ②本体側のステーを固定しているねじを取り外します。
- ③ステー取付板を固定しているねじを取り外してステー取付板を取り外します。これで取り外し完了です。



◎ステーの取付

- ①ステー取付板をねじで本体に取付ます。
※ステー取付板の向きと使用する穴に注意してください。
4つある穴のうち、タップが切っていない穴を使用して本体に取付ます。
- ②ステー取付板にステーを取付ます。
4つある穴のうち、タップが切つてある穴を使用してステー取付板に取付ます。
- ③板ナットを扉に差し込んで、ねじでステーを取付ます。
- ④扉が正常に開閉できるか確認してください。これで取付完了です。



株式会社キョーワナスタ

施工説明書

工事店様用

KS-MB33S

安全上の注意

ここで示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので必ず守ってください。

■ 表示内容を無視して誤った取扱い時に生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

▲ 警告	この表示の欄には「死亡または、重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
▲ 注意	この表示の欄には「傷害を負う可能性または、物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

▲ ご注意

設置環境にご配慮ください

- ・屋外防滴仕様ですが、防水ではありませんので投入口に郵便物がはさまっていたり、強風雨時には郵便物が濡れることがあります。早めに郵便物を取り出すか、軒下等で雨がかりの少ない場所へ設置してください。
- ・取出口側は居室やクロス貼りは避けてください。

ビス類の締め忘れにご注意ください

- ・ビス類の緩みが無いよう強固に締め付けてください。

製品の養生を行ってください

- ・製品取付後に内外装工事を行う場合には必ず十分な養生をしてください。

取付工事には手袋を着用してください

※おねがい事項

極端に高い所や低い所には設置しないでください

- ・郵便物の出し入れに支障の無い位置に取付けてください。

扉の開閉スペースが確保できない場所に設置しないでください

製品取付面の全面が強固な壁等に接触するように取付けてください

- ・パイプフレーム等への取付けはしないでください。

付属品

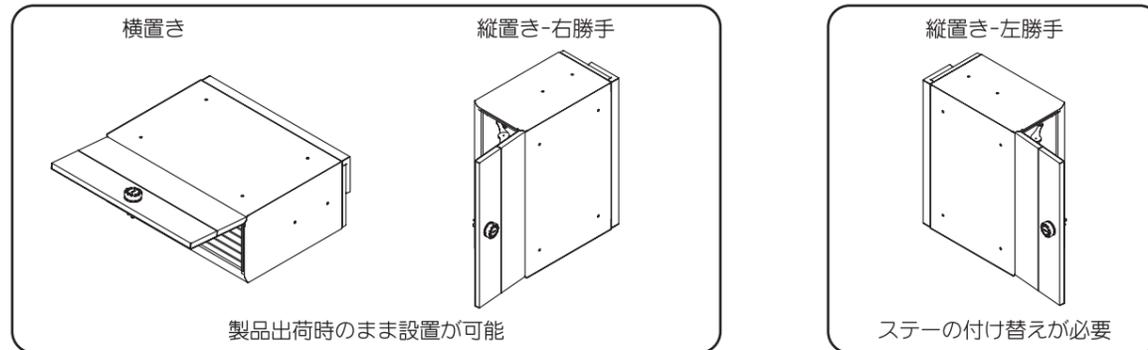
施工ねじセット			穴埋めリベットセット		
図					
品名	タッピンねじ φ4×30	ワッシャー(大)	フィッシャープラグ	穴埋めリベット(透明)	ワッシャー(小)
個数	6	6	6	8	8

連結ねじセット					集合設置用シール材		
図						図	
品名	ナイロンリベット(黒)	ゴムワッシャー	トラス小ねじ M5×8	ワッシャー(中)	ナット	品名	シール材
個数	8	8	4	8	4	個数	2

※枠内部品はポールスタンド設置時の左右連結に使用します。
詳しくはポールスタンドの施工説明書を参照してください。

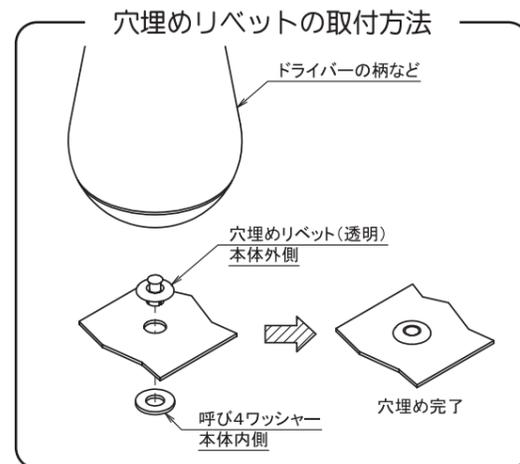
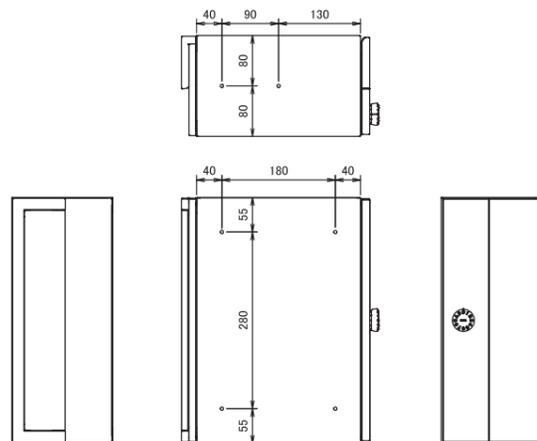
はじめに

- 本製品は縦・横置きを選んで設置することが可能です。
 - 製品出荷時は縦置きの場合、右勝手になっています。(ステーが上に付いています)
 - 縦置き左勝手で設置する場合は必ずステーの付け替えをしてください。(P4 [ステーの付け替え](#) 参照)
- ※付け替えしなかった場合、スノコの取付ができず、扉開閉不良の原因になります。



単体設置の取付方法

- 縦置き左勝手で設置する場合は必ずステーの付け替えをしてください。(P4 [ステーの付け替え](#) 参照)
- ※付け替えしなかった場合、スノコの取付ができず、扉開閉不良の原因になります。
- ①ポストより縦横10~20mm程度大きめの穴をあけてください。
 - ②ポストの取付穴ピッチに合わせてφ6深さ35~40mmの孔をあけ、付属のフィッシャープラグを打ちこみます。
 - ③扉を開き、本体内側より付属の取付ビス、ワッシャーで止めます。
 - ④取付に使用しない穴は付属の穴埋めリベットセットにて穴をふさいでください。
本体内側に呼び4のワッシャーを入れ、透明の穴埋めリベットで固定してください。ドライバーの柄などを利用してリベットの突起を押し込んでください。

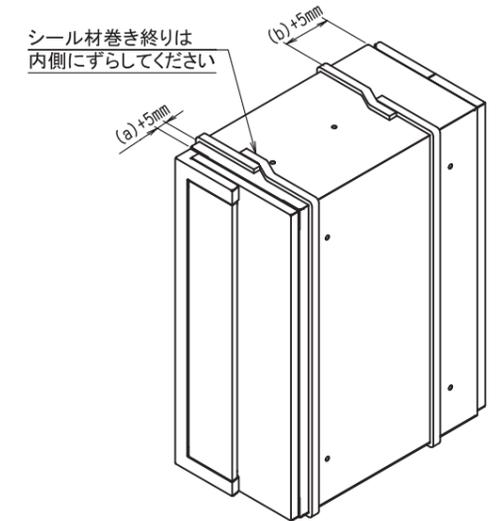


集合設置の取付方法

- 縦置き左勝手で設置する場合は必ずステーの付け替えをしてください。(P4 [ステーの付け替え](#) 参照)
- ※付け替えしなかった場合、スノコの取付ができず、扉開閉不良の原因になります。

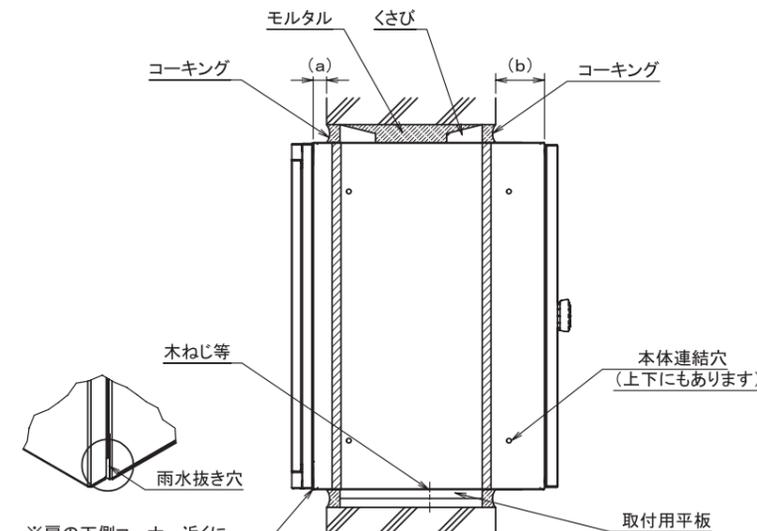
◎取付前の準備

- ①郵便受箱の投入口側本体の壁面からの出張り寸法(a)と取出口側本体の出張り寸法(b)を確認してください。
- ②郵便受箱本体外周に付属のシール材を右図のように巻いてください。
投入口側に(a)寸法+5mmの位置に貼ります。
取出口側も同様に(b)寸法+5mmの位置に貼ります。
※上記シール材の厚みにより、取付壁開口寸法は郵便受箱寸法に加えて1台あたり2.5mm余分に必要です。
※シール材が連結穴にかからないようにしてください。
ナイロンリベットで固定できなくなります。



◎取付方法

- ①郵便受箱を水平に取付ける為に壁面開口部底面にレベル出し用平板(木材、鋼材など)を置き、水平面を出しておきます。※水平面が出ていないと、防滴性能に影響が出ますのでご注意ください。
- ②郵便受箱を平板にのせて、本体側面板相互を付属のナイロンリベット、ゴムワッシャーで連結し、木ネジ・タッピングネジ等で平板に固定します。
- ③上下に接する本体の孔をナイロンリベット、ゴムワッシャーで、固定しながら積み重ねてゆきます。
※取付けの際本体のねじれや、ゆがみがでないように注意してください。
- ④連結が終わったあと扉の作動に支障のないことを確認した上で、くさび等を使い、上部の数ヶ所を固定します。
("くさび"は必ず本体角部に打ってください。)
- ⑤本体外周にモルタルを適度につめ固定し、防水のためコーキング仕上げをしてください。
- ⑥取付後、壁面より出ている穴は付属の穴埋めリベットセットにて穴をふさいでください。
本体内側に呼び4のワッシャーを入れ、透明の穴埋めリベットで固定してください。ドライバーの柄などを利用してリベットの突起を押し込んでください。(単体設置の取付方法を参照してください)



※扉の下側コーナー近くに雨水抜き用の穴があります。
【(a)=0】として取付する場合は、雨水抜き用の穴をふさがらないでください。

ナイロンリベットの取付方法

